

## 災害への備え

理事長  
亀井 一成

ニュースで「50年に一度の記録的大雨」という表現を頻繁に聞くようになり、地球温暖化とそれに伴う災害の発生は確実に増えていると実感する毎日です。大きな台風や洪水・南海地震はいつ私たちを襲うかわかりませんが、罹災した後で、ああしておけばよかった・こうしていたらよかったなどと悔みたくはありません。

そんな考えの下、災害対策として水道は2013年に井水に変更しました。阪神淡路大震災では、上水道の給水障害が約10週間続いたそうですので自家水源を利用することにしました。また屋上の非常用発電機からは、手術室・中材・透析室・放射線室・病棟・電子カルテなどのサーバー室・衛星電話を始めとする通信機器それに垂直移動の頼みの綱のエレベーター、照明やトイレを流すセンサーにまで非常用電源を供給しています。さらに昨年研修棟を増築し、罹災した職員を収容することも可能となりました。今年度は病院敷地入口に止水板の設置と、擁壁・駐車場のかさ上げ、それに排水ポンプの能力を倍増して水害に備えています。

私たちは病院が地域インフラであることを自覚しております。万一罹災しても被害を最小限にとどめ速やかに機能を回復できるよう、これからも施設整備を進めて参ります。





## 第 20 回院内発表記念講演会 — 沼野尚美先生をお迎えして —



沼野尚美先生

当院では 2008 年 3 月から年 2 回のペースで院内発表会を開催しています。この夏、第 20 回の節目を迎えたことを記念して 8 月 19 日、ザ・パシフィックハーバーにて記念講演会を行いました。講師に宝塚市立病院緩和ケア病棟のチャプレン・カウンセラーの沼野尚美先生をお招きして「末期がん患者の心のケア ～患者とのコミュニケーションのとり方～」をテーマにお話ししていただきました。沼野先生はがん患者さんとそのご家族の精神的かつ宗教的援助がご専門で、これまで 10ヶ所のホスピスで勤務され、3,000 人以上の方々の生と死に関わってこられました。そのご経験から病める人の心の叫びを 6 つに分けたお話や、先生ご自身や病院スタッフのエピソードを交えた具体的なお話に職員は引き込まれ、患者さんとの向き合い方や考え方、寄り添い方についてしっかり学ぶことができました。

今や 2 人に 1 人ががんになり、3 人に 1 人ががんで亡くなると言われている時代です。そのため自分自身や家族がもしがんに罹ったときには、死と向き合わざるを得ない状況におかれます。参加者は医療スタッフの立場としてだけでなく、ときには患者・患者家族の立場になって講演を聴きました。

お話の最後に「多くの患者さんから“スーパーナース”と慕われている看護師さんに、仕事をする上で一番心がけていることは何ですかと質問したのですが、みなさん、何だと思えますか？」という質問が沼野先生から投げかけられました。紹介された答えは「いい緊張感をもっていること」でした。患者さんのニーズをタイムリーにつかみ、その心の動きに敏感であるためにはいい緊張感を忘れずに努力を重ねていくこと…勤務年数を積み、経験を重ねてベテランになっていくことも大切にしつつ、「いい緊張感を持って仕事をする」ことの重要性が私たちの心にとまりました。



みんなで記念撮影

当院の教育施設認定

ワークライフバランス

- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 協力型臨床研修病院
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- 産休・育休後の復職率 100%を 13 年間継続しています

今回、沼野先生をお招きすることになったのは、3年前の「第38回日本死の臨床研究会年次大会（大分県別府市）」に濱尾副院長が参加した際、沼野先生の講演を聴いて「スタッフにも聞かせたい」と思ったことがきっかけでした。外へ出ていろいろな人の話を聞くなどの刺激を受け、共有していくことの大切さも感じられた今回の講演会でした。

さて、第20回の院内発表会（7月25日開催）では、主催者である濱尾副院長より職員に向けて「No Attack, No Chance(挑戦なくしてチャンスなし)」というメッセージがありました。これは、今年5月にアメリカで行われた世界最速のカーレースであるインディ500において日本人初優勝の快挙を成し遂げた佐藤琢磨選手の言葉からの引用で、過酷な環境の中で自ら新しい挑戦をし続けている佐藤選手がこだわり続けている信念を表しています。能動的に挑戦することで得られるものがあり、挑戦し続けるひたむきな姿勢は医療現場で仕事をする者にとって必要なことです。日々の業務の中でテーマを探して、部署間で協力し合って作り上げた成果を大勢の前で発表するという院内発表会も、挑戦するひとつの形と言えます。

今回のチャレンジは6演題ありました。

- |                                 |              |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 若手世代の継続的採用のために「亀井病院、という選択」   | 〔事務部総務課〕     |
| 2. 手指消毒剤の使用量調査 消費量増加に向けた取り組み    | 〔看護部病棟〕      |
| 3. 透析シャント手術の手術部位感染（SSI）の現状と感染対策 | 〔看護部手術室〕     |
| 4. あすなろメニュー初年度の概要               | 〔栄養部〕        |
| 5. 日本透析医学会統計調査と当院の統計調査の比較       | 〔臨床工学部〕      |
| 6. 入院がん患者のQOL評価                 | 〔リハビリテーション部〕 |

いずれも興味深い発表がそろいましたが、中でも臨床的意義が高く、今後の改善課題が明確で現場に活かされることが期待された「透析シャント手術の手術部位感染（SSI）の現状と感染対策」が優秀賞を受賞しました。

今回の記念講演会や院内発表会は、患者さんとの日常の関わり方や仕事のあり方について改めて考える良い機会となりました。各々が感じ考えたことを今後の業務に活かし、亀井病院に来てよかったと思っただけのような医療の提供に繋がってまいります。

〔 広報委員会 〕



## Topics 第5回 腎・泌尿器疾患勉強会

毎年5月、地域の医療機関の先生方や患者相談・支援を担当しておられる方、ケアマネージャーや訪問看護など医療にかかわる方々を対象に、腎・泌尿器疾患の話題を中心とした勉強会を開催しています。5回目となる今年は5月24日、ホテルグランドパレス徳島で行いました。

座長を桜井紀嗣先生（住友医院 / 徳島市勝占町）に務めていただいて、4題の講演がありました。

1. ダスティングモードによる TUL の結石破砕効果 [榊 学 医師]  
最新の尿路結石治療レーザーを用いた碎石の効果や手術件数他データについて
2. プレッシャーフロスタディにおける排尿機能検査士の役割 [中田拓史 診療放射線技師]  
下部尿路障害の具体的な内容や、中田を含めた現在7名の排尿機能検査士の活動について
3. 感染性腎嚢胞の検討 [湊 淳 先生 (徳島市民病院泌尿器科)]  
感染性腎嚢胞という病気について、先生が経験してこられた症例やその治療について
4. 慢性腎臓病のリン管理 [中達弘能 医師]  
慢性腎不全保存期からのリン管理が重要な理由や期待できることについて

ご参加いただいた先生方からは、各演題ごとに活発な質疑を頂きました。



勉強会終了後には懇親会の場を持ち、会場には当院の臨床統計を掲示・ご紹介しました。それぞれ会話もはずんで、より詳しい情報交換の場となり、楽しいひとときとなったことを、スタッフ一同ともうれしく思い、感謝でいっぱいです。ご多忙の中お越し下さった皆様、ご協力くださった先生方にお礼申し上げます。

来年の5月には第6回の勉強会を予定しています。多方面から多くのご参加をいただけますよう心よりお待ちしております。





## Topics ふれあい看護体験 2017

8月4日に、ふれあい看護体験 2017 を開催しました。将来、医療関係の仕事につきたいと思っている高校2年生の学生さんが、看護師の仕事や現場の雰囲気を体験しました。

はじめは緊張した表情でしたが、院内を見学し、車イス移乗体験や血圧測定を学んでいるうちに打ち解けてきて、昼食では楽しいひとときになりました。

午後からは心肺蘇生法の体験や患者さんとのふれあい体験をおこないました。心肺蘇生法体験では人形を使って実際に胸を圧迫したり AED を装着したりと実践しながらの講習となりました。また患者さんとのふれあい体験では、透析シャントに血液が流れる音を聞いたり、車イスで院内散歩をしたりしました。普段はできない体験をした学生さんたちの表情は、とても生き活きとしていました。



血圧測定体験



心肺蘇生法体験



患者さんとのふれあい体験

## 新入職員の紹介 ①氏名 ②職種 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤抱負をひと言



①松下 直子 (まつした なおこ)

②栄養士

③徳島県

④音楽鑑賞

⑤当院の特徴である”透析食、緩和ケアのための食事”を学び、給食管理の分野で貢献できるよう、日々勉強を重ね、知識向上に励んでいます。

①吉本 麻美 (よしもと あさみ)

②看護師

③徳島県

④音楽・映画鑑賞

⑤患者さんの声に耳を傾け、患者さんに寄り添った看護を提供できるように頑張ります。

## カメイのごはん 秋いっぱい ドリア

朝晩ずいぶん涼しくなり、夜長に鈴虫の鳴き声を楽しむ季節になりました。暑さで低下していた食欲も回復し、実りの秋を迎えご飯が美味しく頂ける今日この頃ですが、そんな時期にピッタリな、秋ならではの食材も取り入れたお手軽ドリアをご紹介します。材料のエリンギやぶなしめじ、さつまいもや栗は野菜に勝るとも劣らない三大栄養素(炭水化物・脂質・タンパク質)の代謝に不可欠なビタミンB1やナイアシン、パントテン酸などを多く含んでいます。豊富に出回るこの時期にはぜひ取り入れたい食材ですね。ドリアの味付けにはホワイトソースの代わりにクリームシチューのルーを使用しましたが、ビーフシチューやカレーのルーでも代用でき、もちろん白ご飯でも美味しく出来上がります。(管理栄養士 山下絵里)



### 【材料】一人分

ご飯…150g、玉ねぎ…20g  
ケチャップ…15g、オリーブ油…2.5g  
クリームシチューのルー…20g  
水…使用するルー指定の分量  
さつまいも…20g、栗…25g  
ぶなしめじ…15g、エリンギ…15g  
赤パプリカ…10g、パン粉…少々  
とろけるチーズ…20g  
パセリ…少々

エネルギー：548 kcal  
タンパク質：12.0 g  
塩 分：3.0 g  
カリウム：489 mg  
リ ン：266 mg

### 【作り方】

- ① 玉ねぎは5mm幅にスライスする。ぶなしめじは、石づきを取りほぐしておく。エリンギも石づきをおとし横半分になり、端から5mm幅にカットする。
- ② 赤パプリカは縦半分に切り、柄と種を取り玉ねぎと同じ大きさにカットし茹でる。
- ③ 栗は渋皮までむき、沸騰したお湯で15分程茹でる。(甘露栗でも可)
- ④ さつまいもはよく洗い、皮ごと2cm角にカットして茹でる。
- ⑤ ご飯とケチャップを混ぜ合わせ、グラタン皿にしき詰める。
- ⑥ 鍋にオリーブ油を入れ、玉ねぎをしんなりするまで炒め、エリンギとぶなしめじを加えてさらに炒める。
- ⑦ ⑥にシチューを作る要領で水とルーを加え火を通し、最後に赤パプリカを入れる。
- ⑧ ⑤に⑦のルーをかけ、茹でた栗とさつまいもを散らし、上からチーズとパン粉少々をふり 200℃のオーブンで焼き色がつくまで13～15分焼く。仕上げにパセリのみじん切りを散らす。



## バックヤード ～仕事の風景 診療情報管理室～

普段、患者さんからは見えない場所で働くスタッフの姿を紹介します

診療情報管理室は、蓄積された診療情報を適切に維持・管理し、そこに含まれるデータを加工、分析、編集し活用することで、医療の安全管理や質の向上と病院経営に寄与しております。

現在行っている具体的な取り組みは、

1. 臨床評価指標（Clinical Indicator：CI）の作成
2. 広報誌やホームページ上でのCIの公表
3. 国際疾病分類（ICD-10）に基づいたコーディング
4. 各種会議体や学会発表時に使用する診療データの作成

などを実践しています。

診療情報は医療現場で実践された診療行為を科学的に記録した診療の根拠であるとともに、医師や看護師等の医療従事者と患者さんとが協力して病気と戦った記録でもあります。これらの診療記録を患者さんが「見たい」と思い、診療情報の開示を希望された時に備え、適切な形で提供出来るように準備を進めておくことも私たちには求められています。

これら一つ一つを正確・迅速に行うことで、医療活動のバックアップに貢献できるよう、今後も業務に精進してまいります。



## おすすめストレッチ ♪ 呼吸筋のストレッチ

軽い運動でも息切れを起こすことはありませんか？ それは、呼吸筋が硬くなっているのが原因かもしれません。呼吸筋が硬くなっている場合は、呼吸の動きと反対の動きをすることで呼吸筋ストレッチを行い、改善を図りましょう。

（理学療法士 川崎 秀樹）



### ① 呼気

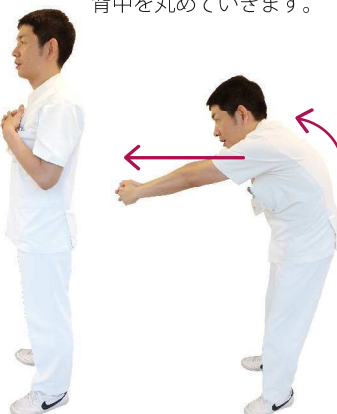
頭の後ろで手を組み、ゆっくりと息を吐きながら上に手を上げ背伸びをしていきます。



息を吸いながら元の場所に戻す  
3～10回  
1日3回行います

### ② 吸気

胸の前で手を組み、ゆっくりと息を吸いながら腕を前に伸ばし背中を丸めていきます。



息を吐きながら元の姿勢に戻る  
3～10回  
1日3回行います

Pipi、ってなあに？

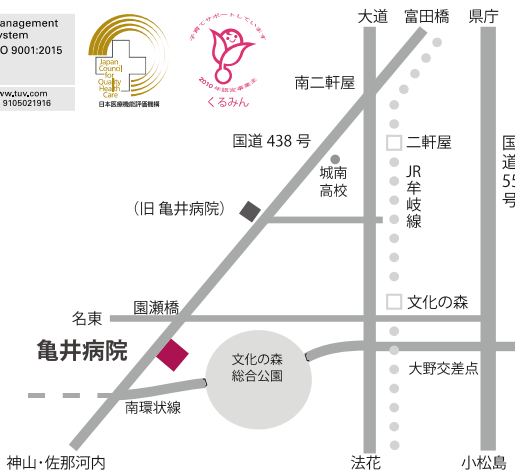
「Pipi」とはフランス語で「おしっこ」の意味です。広報誌の発刊が決まったとき、職員に名称を募集したところ、集まったもののなかでキラリと光っていたのがPipiでした。当院の特徴である腎・泌尿器を表現できているのではないかと考えています。



# 外来診療のご案内 平成 29 年 10 月現在

	月	火	水	木	金	土
<b>腎・泌尿器科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
<b>透析</b>						
8:00 ~	●	●	●	●	●	●
12:00 ~	●	●	●	●	●	●
17:00 ~	●		●		●	
<b>総合診療</b>					(第1・3土曜のみ)	
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	○
14:00 ~ 16:30	●					
<b>腎臓内科</b>						
9:00 ~ 12:00	●		●	●		
14:00 ~ 16:30	●		●	●		
<b>麻酔科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	
<b>循環器内科</b>					(第1・3木曜のみ)	
14:30 ~ 16:30				○		
<b>整形外科</b>					(第2・4土曜のみ)	
9:00 ~ 12:00						○
<b>緩和医療</b>						
9:00 ~ 12:00		●		●		

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。  
 ※いずれの外来も予約制で行っています。当日受診希望の方も  
 電話連絡をお願いします。  
 ※毎月（月1回）の保険証の提示にご協力ください。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側となり
  - 大型駐車場あり
  - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。1日 55 便、上下線とも病院玄関前に  
 停車します。通院・お見舞いにご利用ください。



〒770-8070 徳島市八万町寺山 231  
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122  
 ( 外来のご予約に関するお問い合わせは )  
 ( 日・祝を除く 9 時 ~ 18 時 )  
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

## \*\*お知らせ\*\*

- 平成 29 年度高齢者用肺炎球菌ワクチン  
 予防接種（定期予防接種）を実施して  
 います。今年度該当する年齢（65,70,75,80  
 85,90,95,100 歳）の方へは、専用の予診  
 票が市町村から送付されています。自己  
 負担金は 4000 円（生活保護世帯に属す  
 る方は免除）です。
- 対象年齢以外の方も 7800 円（税別）で  
 接種できます。接種期間に制限がありま  
 すのでお早めにご予約ください。
- 徳島市がん検診や前立腺がん精密健診も  
 受け付けています。
- あらかじめ電話にてご相談・ご予約く  
 ださい。

## \*\*表紙の写真\*\*

この夏、拡張と共にかさ上げし、1 台当  
 たり 6m×2.8m のスペースを取った北側  
 駐車場です。どうぞご利用ください。

## \*\*病院の理念\*\*

よりよい医療を提供し  
 社会に貢献いたします

## \* 4 つの基本方針 \*

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を  
 発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を  
 目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが  
 健康回復に取り組むことを  
 医療的にそして精神的に支援します

## \*\*編集後記\*\*

天高く馬肥ゆる秋。現代では、爽やかな  
 秋の光景を伝える言葉として使われてい  
 ますが、古代中国では収穫の時期に北方  
 から略奪にやってくる騎馬民族に備えよ  
 と、国民の気持ちを引きしめる言葉とし  
 て使われていたそうです。暑さが過ぎ去  
 り楽しみの多い秋。おいしいものや運動  
 を楽しみつつ、いい緊張感を持って仕事  
 に取り組みたいものです。(T.I.)